JPX PRIME
証券コード：3150

2027年３月期
第２四半期（中間期）
決算短信補足資料



株式会社グリムス
証券コード：3150

2026年11月４日

https://www.grems.co.jp/

Copyright© grems,Inc All Rights Reserved

⑴ 第2四半期（中間期）概要

Copyright© grems,Inc All Rights Reserved

第２四半期（中間期）のトピックス

売上高

過去最高

19,409百万円

YoY(※1) +11.4%

計画比 +2.6%

営業利益

過去最高

4,551百万円

YoY(※1)+24.8%

計画比 +16.9%

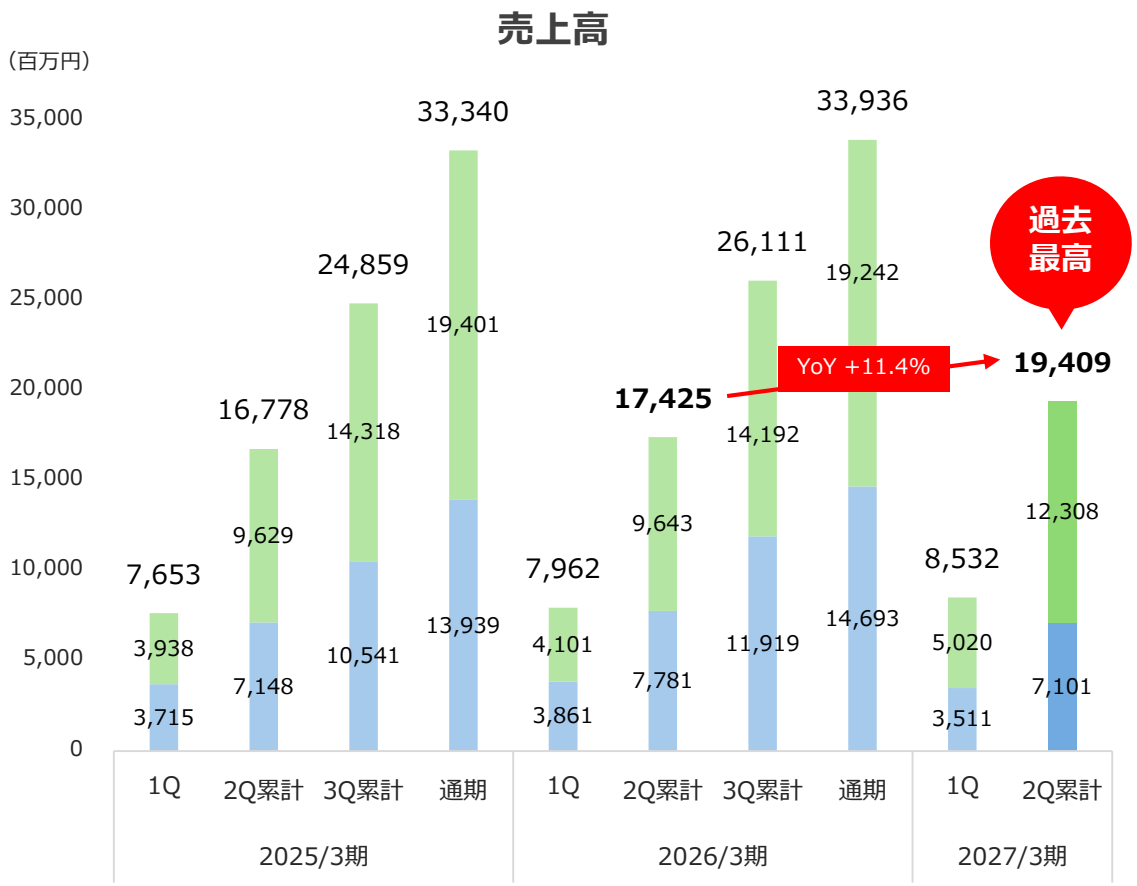
売上高	中東情勢による市場価格上昇により小売電気事業の販売単価が上昇したため、売上が拡大
営業利益	旧SHP事業 (※2) 縮小により、ES事業の営業利益率が34.2%から42.4%に大幅改善 契約口数増とリスクヘッジ施策により、小売電気事業が増益

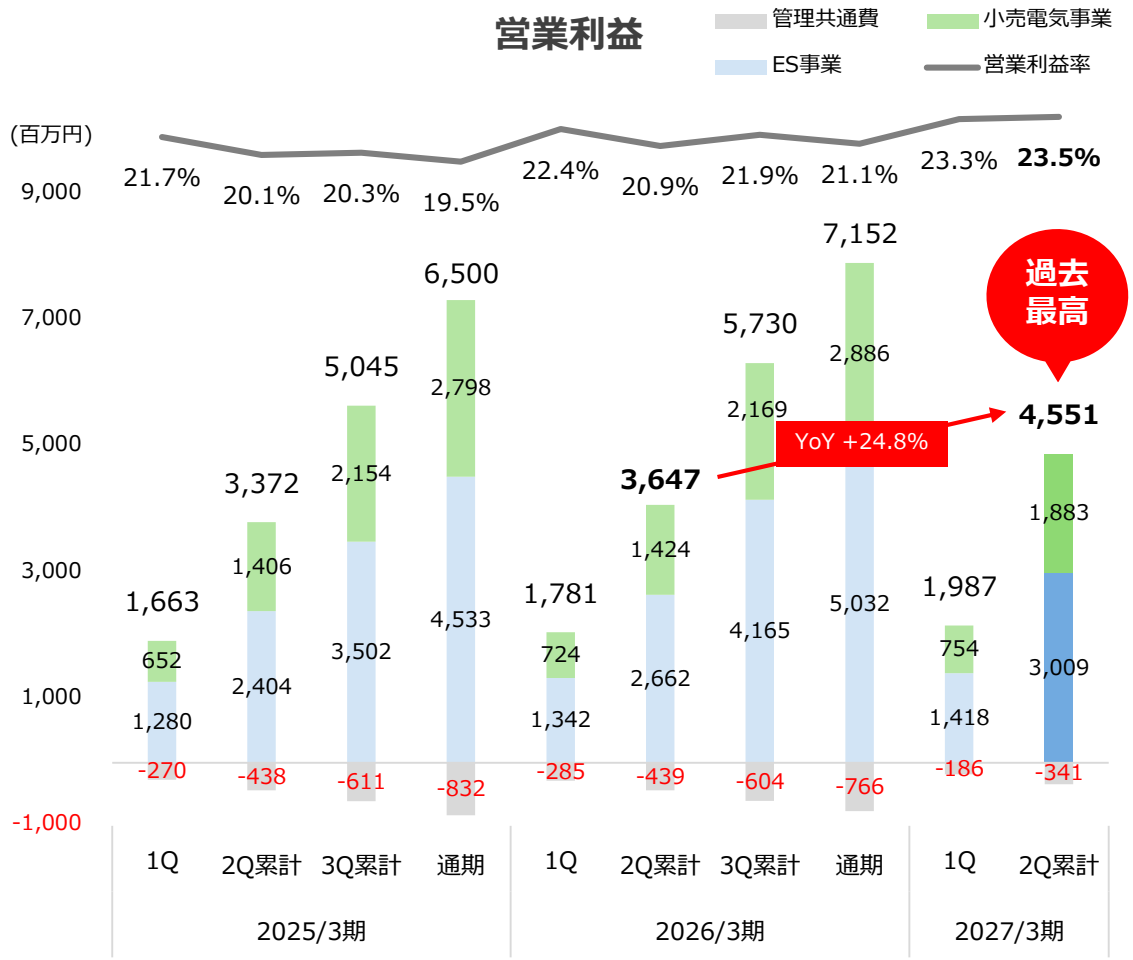
※1 前年同期比
※2 一般消費者向け事業

Copyright© grems,Inc All Rights Reserved

四半期累計業績推移（売上高・営業利益）

売上高・営業利益ともに第２四半期（中間期）として過去最高を更新。





※2025/3期におけるES(エネルギーソリューション)事業は、
旧ECS事業(法人向け事業)と旧SHP事業の合算値

Copyright© grems,Inc All Rights Reserved

連結業績ハイライト（前年同期比・計画比）

売上・利益ともに順調に推移。ES事業は旧SHP事業の縮小により減収となるも、収益性改善により増益。

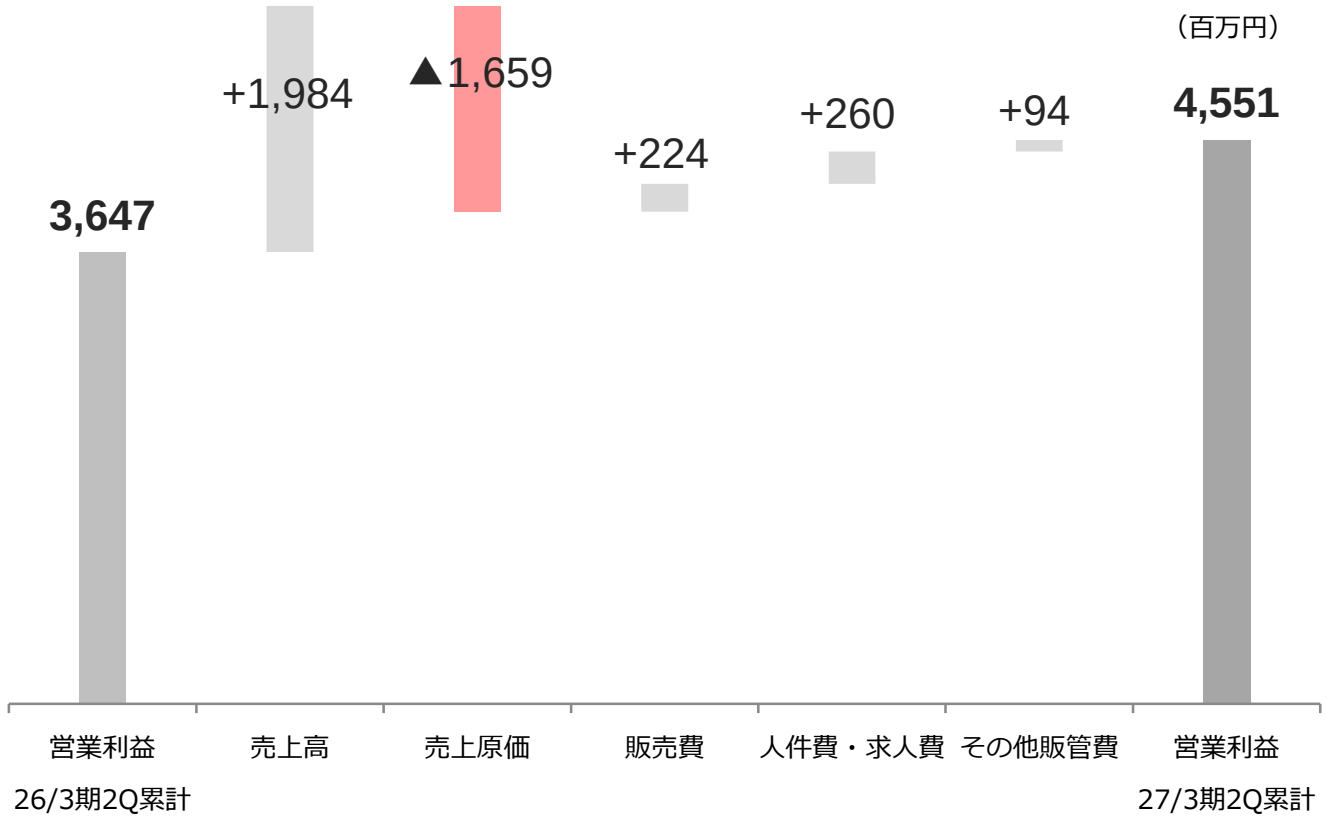
（単位：百万円）	2026/3期2Q累計 金額	2026/3期2Q累計 対売上高	2027/3期2Q累計（計画） 金額	2027/3期2Q累計（計画） 対売上高	**2027/3期2Q累計（実績） 金額**	**2027/3期2Q累計（実績） 対売上高**	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	計画比 増減額	計画比 増減率
売上高	17,425	100.0%	18,916	100.0%	**19,409**	**100.0%**	+1,984	+11.4%	+492	+2.6%
ES事業	7,781	44.7%	6,918	36.6%	**7,101**	**36.6%**	▲680	▲8.7%	+182	+2.6%
小売電気事業	9,643	55.3%	11,997	63.4%	**12,308**	**63.4%**	+2,664	+27.6%	+310	+2.6%
売上総利益	6,117	35.1%	5,849	30.9%	**6,442**	**33.2%**	+325	+5.3%	+593	+10.2%
ES事業	4,212	54.1%	3,782	54.7%	**4,102**	**57.8%**	▲109	▲2.6%	+320	+8.5%
小売電気事業	1,905	19.8%	2,066	17.2%	**2,339**	**19.0%**	+434	+22.8%	+273	+13.2%
営業利益	3,647	20.9%	3,893	20.6%	**4,551**	**23.5%**	+904	+24.8%	+658	+16.9%
ES事業	2,662	34.2%	2,664	38.5%	**3,009**	**42.4%**	+347	+13.1%	+345	+13.0%
小売電気事業	1,424	14.8%	1,594	13.3%	**1,883**	**15.3%**	+458	+32.2%	+288	+18.1%
管理共通費	▲439	–	▲365	–	**▲341**	**–**	+98	–	+23	–
経常利益	3,705	21.3%	3,914	20.7%	**4,601**	**23.7%**	+896	+24.2%	+686	+17.5%
中間純利益	2,508	14.4%	2,644	14.0%	**3,089**	**15.9%**	+580	+23.2%	+444	+16.8%

Copyright© grems,Inc All Rights Reserved

営業利益の増減要因

ES事業・小売電気事業ともに拡大。

営業利益の増減要因（前年同期比）



売上高

法人向け事業が拡大　+550
一般消費者向け事業の販売縮小　▲1,231
小売の契約口数・販売量増加及び販売単価上昇　+2,664

売上原価

法人向け事業拡大に伴う原価増　▲247
一般消費者向け事業の販売縮小に伴う原価減　+818
小売の販売量増加及び市場価格上昇による原価増　▲2,229

販売費

一般消費者向け事業の販売縮小に伴う減少　+187

人件費・求人費

一般消費者向け事業の販売縮小に伴う減少　+196

その他販管費

一般消費者向け事業の販売縮小に伴う減少　+81

Copyright© grems,Inc　All Rights Reserved

貸借対照表（B/S）

自己資本比率は69.5%　良好な財務基盤を維持。

（単位：百万円）	2026/3/末	**2026/9/末**	増減額	主な増減要因	
流動資産	23,758	**23,777**	+19	現金及び預金 売掛金 商品	▲2,098 +2,378 ▲331
固定資産	4,908	**6,577**	+1,669	投資有価証券 敷金及び保証金	+1,421 +230
資産合計	**28,666**	**30,355**	**+1,688**		
流動負債	6,462	**7,217**	+754	買掛金 未払法人税等	+597 +287
固定負債	2,645	**1,979**	▲666	長期借入金	▲637
負債合計	**9,108**	**9,196**	**+87**		
純資産合計	**19,558**	**21,158**	**+1,600**	中間包括利益 剰余金の配当	+2,987 ▲1,387
負債・純資産合計	**28,666**	**30,355**	**+1,688**		

Copyright© grems,Inc All Rights Reserved

キャッシュフロー（C/F）

営業キャッシュフローは前年同期比増加。

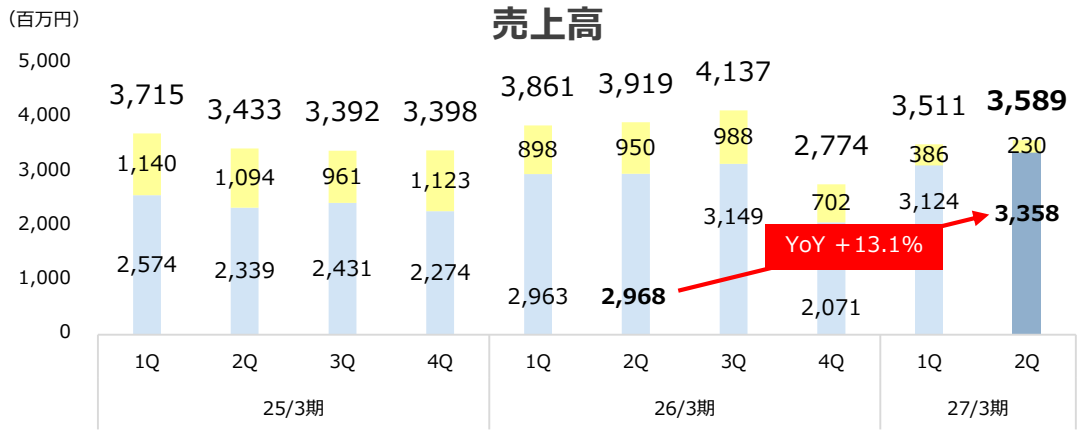
（単位：百万円）	2026/3期 2Q累計	2027/3期 2Q累計	2027/3期2Q累計の主な内訳	
営業活動によるキャッシュフロー	1,690	**1,843**	税金等調整前中間純利益 売掛金の増加額 買掛金の増加額 法人税等の支払額	+4,601百万円 ▲2,378百万円 +597百万円 ▲1,208百万円
投資活動によるキャッシュフロー	▲238	**▲2,094**	投資有価証券の取得	▲2,100百万円
財務活動によるキャッシュフロー	▲1,119	**▲1,847**	長期借入金の返済 配当金の支払額	▲660百万円 ▲1,386百万円
現金及び現金同等物の増減	332	**▲2,098**		
現金及び現金同等物の期末残高	14,183	**14,225**		

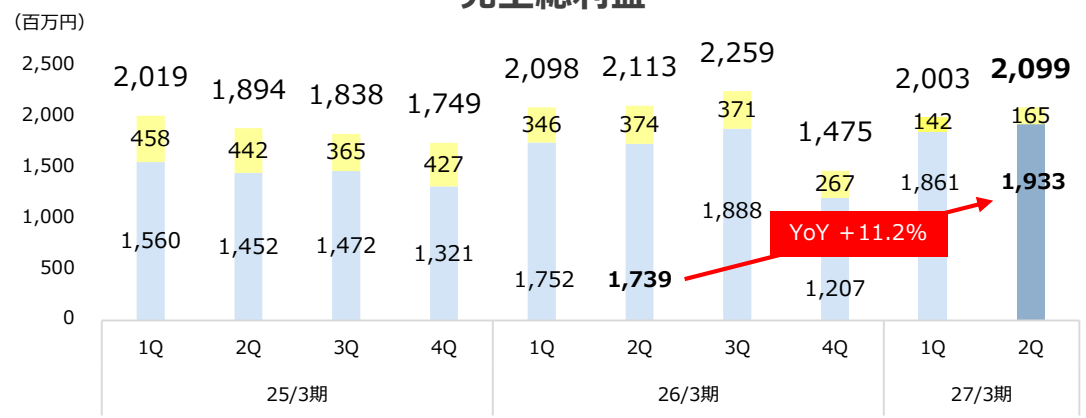
Copyright© grems,Inc All Rights Reserved

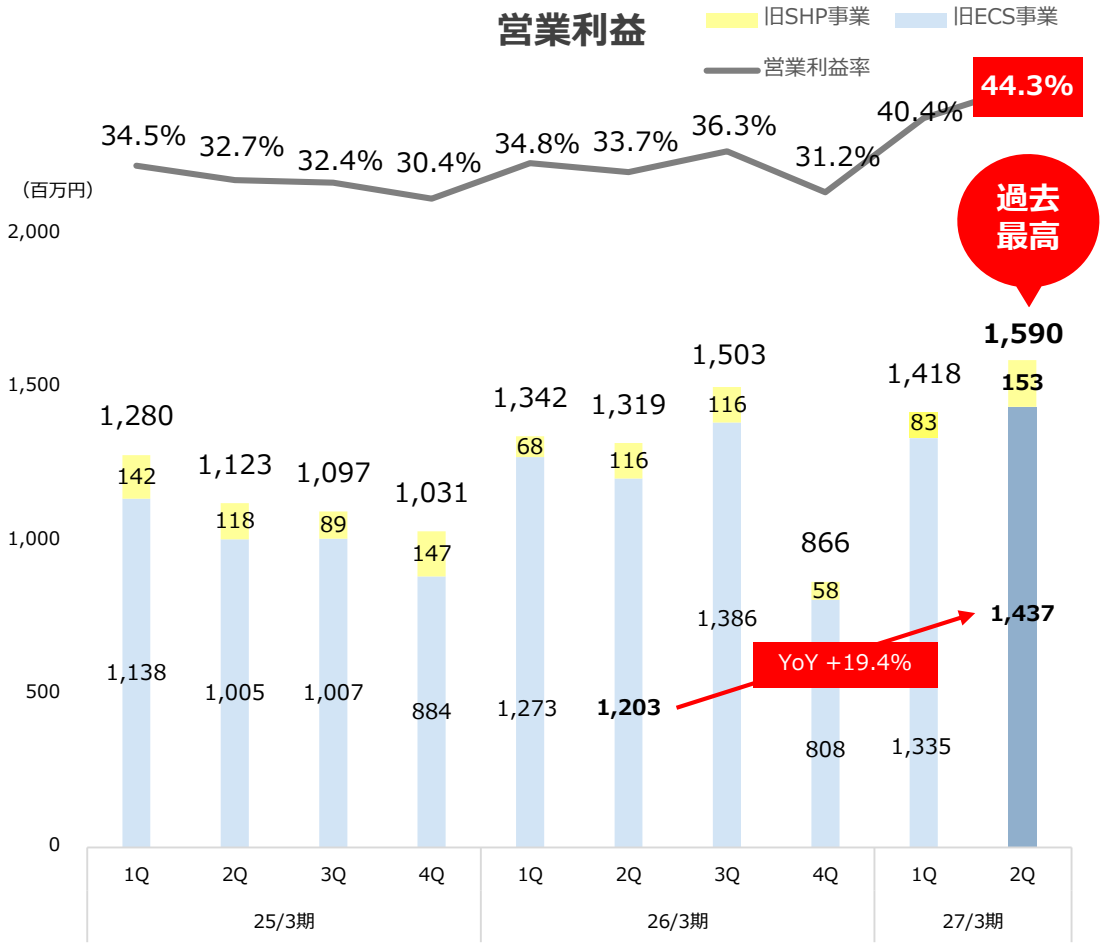
ES事業の四半期業績推移

旧ECS事業が拡大。旧SHP事業は縮小するも営業増益を確保。ES事業としての営業利益率が大幅改善。

内訳は旧セグメント（※）で記載







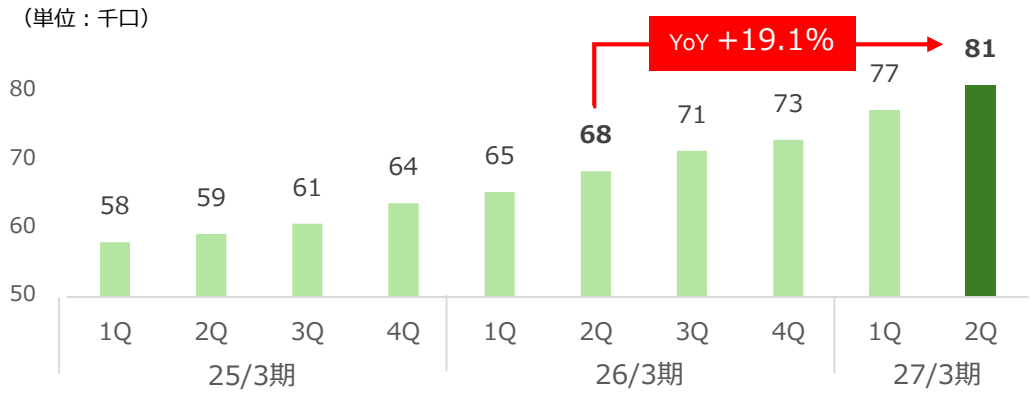
※ 旧ECS事業は事業用太陽光発電システムなどの法人向け事業
旧SHP事業は一般消費者向け事業

Copyright© grems,Inc All Rights Reserved

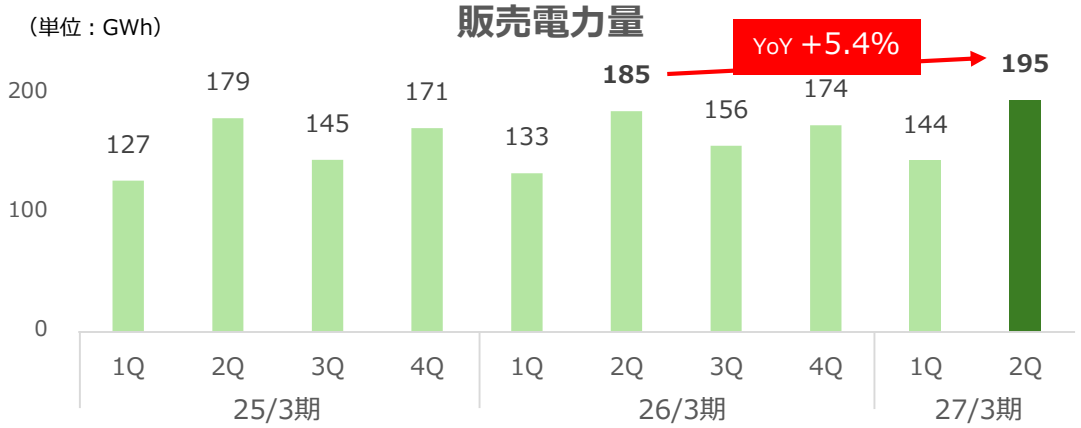
小売電気事業の四半期業績推移

契約口数は81千口へ到達し、2Qの売上総利益は前年同期比＋41.4%。

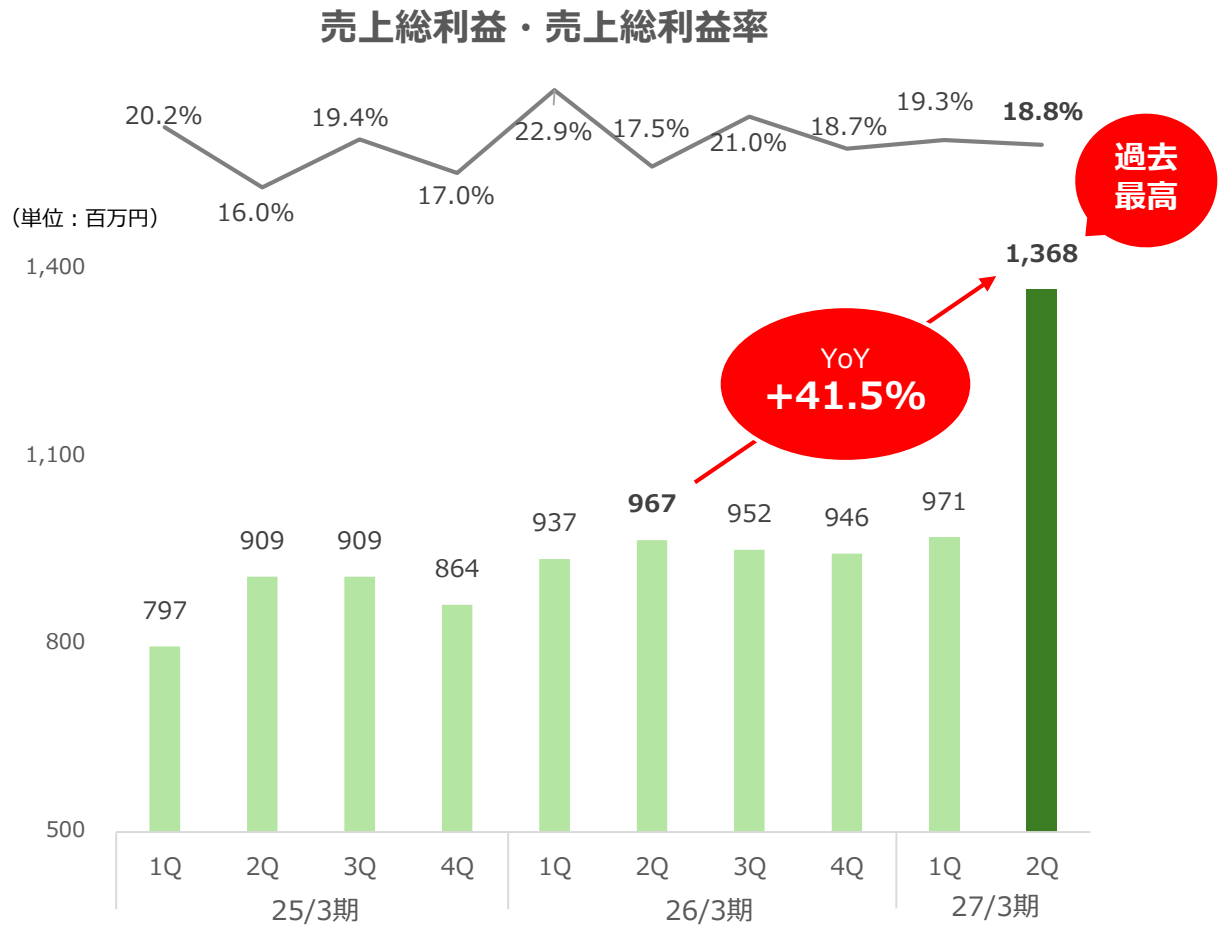
契約口数



販売電力量



売上総利益・売上総利益率

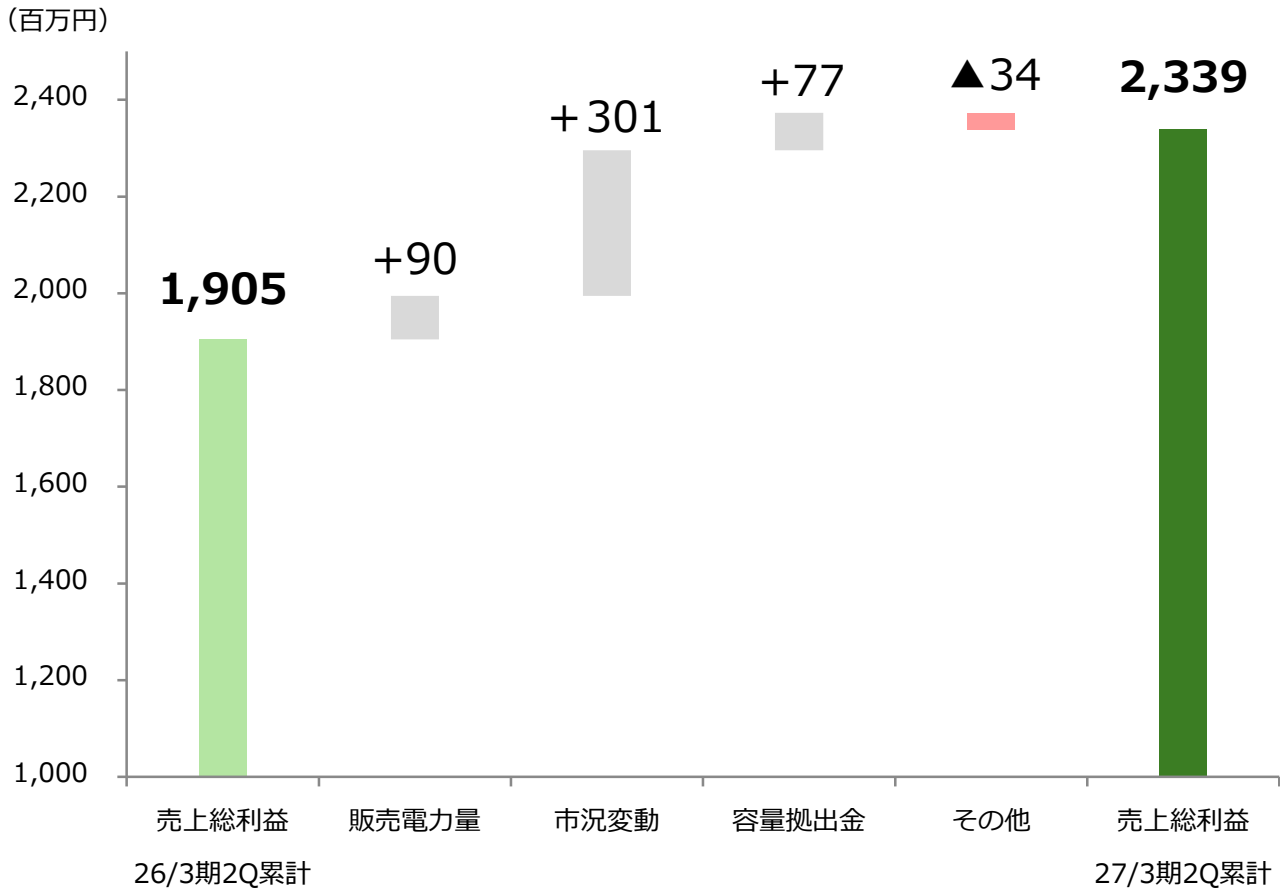


Copyright© grems,Inc All Rights Reserved

小売電気事業の増減要因

販売電力量の増加、相対電源の差益などにより、売上総利益は＋434百万円。

売上総利益の増減要因（前年同期比）



■販売電力量

販売電力量の増加で+90百万円

	販売電力量（MWh）
27.3期2Q累計	338,316
26.3期2Q累計	318,500

■市況変動（単位：円/kWh）

燃調・市場価格による売上増＋1,840百万円、原価増▲1,884百万円
相対電源の差益＋344百万円　合計＋301百万円

	燃調価格(※1)	市場価格	相対電源(※2)
27.3期2Q累計	2.86	18.97	11.70
26.3期2Q累計	2.90	12.40	14.23

■容量市場拠出金(※3)（単位：百万円）

原価の増加以上の売上増加で＋77百万円

	容量拠出金売上	容量拠出金原価
27/3期2Q累計	604	485
26/3期2Q累計	293	250

※1 火力発電の燃料費の変動を販売単価に反映するための一般的な制度
※2 発電事業者などと固定単価で個別契約する電源
※3 将来の供給力を確保するために小売電気事業者等が負担する費用

Copyright© grems,Inc All Rights Reserved

⑫　業績予想及び配当予想

Copyright© grems,Inc All Rights Reserved

2027年3月期業績予想のポイント

ES事業	事業用太陽光の販売拡大と蓄電池のクロスセルを推進 系統用蓄電所を順次稼働し、ストック収益を構築
小売電気事業	契約口数の増加ペースを速め、収益基盤を拡大 独自燃調と相対電源・先物取引により、市況変動リスクを抑制
全社業績	成長投資を継続しながら、過去最高売上高・利益の更新を計画

Copyright© grems,Inc All Rights Reserved

2027年3月期業績予想

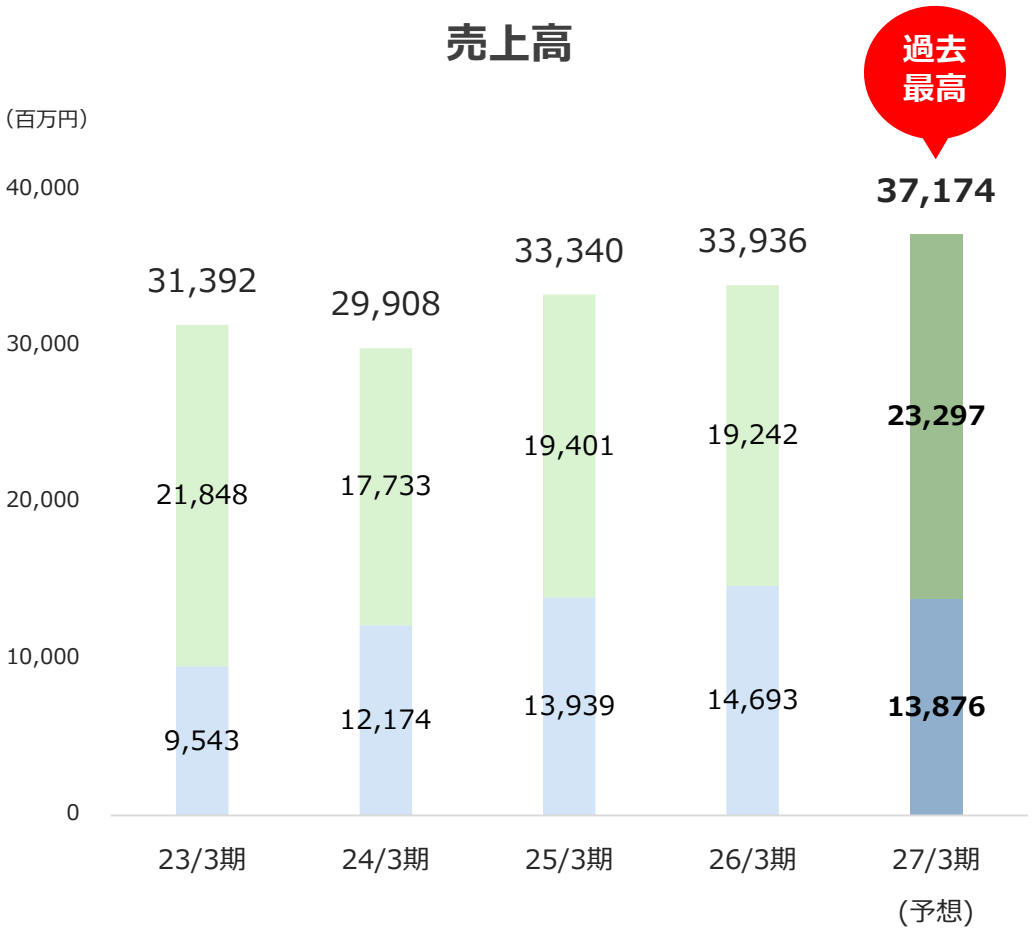
第２四半期（中間期）は売上・利益ともに順調に進捗。

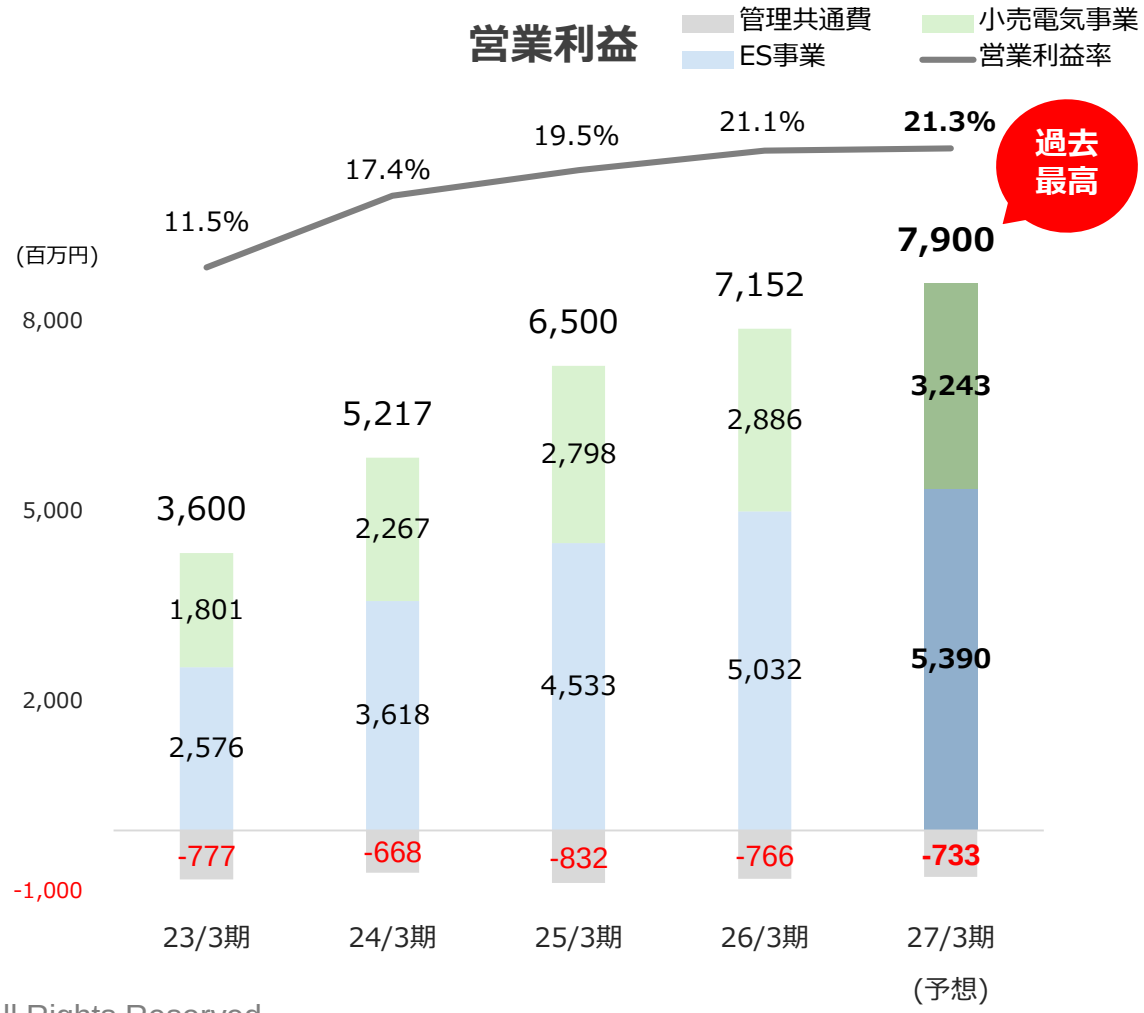
（単位：百万円）	2027/3期2Q累計（計画） 金額	2027/3期2Q累計（計画） 対売上高	2027/3期2Q累計（実績） 金額	2027/3期2Q累計（実績） 対売上高	**2027/3期（業績予想） 金額**	**2027/3期（業績予想） 対売上高**	2Q累計進捗率（対通期）	2026/3期 金額	2026/3期 対売上高
売上高	18,916	100.0%	19,409	100.0%	**37,174**	**100.0%**	52.2%	33,936	100.0%
ES事業	6,918	36.6%	7,101	36.6%	**13,876**	**37.3%**	51.2%	14,693	43.3%
小売電気事業	11,997	63.4%	12,308	63.4%	**23,297**	**62.7%**	52.8%	19,242	56.7%
売上総利益	5,849	30.9%	6,442	33.2%	**11,871**	**31.9%**	54.3%	11,752	34.6%
ES事業	3,782	54.7%	4,102	57.8%	**7,632**	**55.0%**	53.8%	7,947	54.1%
小売電気事業	2,066	17.2%	2,339	19.0%	**4,238**	**18.2%**	55.2%	3,804	19.8%
営業利益	3,893	20.6%	4,551	23.5%	**7,900**	**21.3%**	57.6%	7,152	21.1%
ES事業	2,664	38.5%	3,009	42.4%	**5,390**	**38.8%**	55.8%	5,032	34.2%
小売電気事業	1,594	13.3%	1,883	15.3%	**3,243**	**13.9%**	58.1%	2,886	15.0%
管理共通費	▲365	–	▲341	–	**▲733**	**–**	46.5%	▲766	–
経常利益	3,914	20.7%	4,601	23.7%	**7,928**	**21.3%**	58.0%	7,289	21.5%
当期（中間）純利益	2,644	14.0%	3,089	15.9%	**5,376**	**14.5%**	57.5%	4,896	14.4%

Copyright© grems,Inc All Rights Reserved

連結業績推移（売上高・営業利益）

売上高YoY+9.5%　営業利益YoY＋10.5%　　売上高・営業利益ともに過去最高を更新する計画。





※2025/3期以前におけるES事業は、旧ECS事業と旧SHP事業の合算値

Copyright© grems,Inc　All Rights Reserved

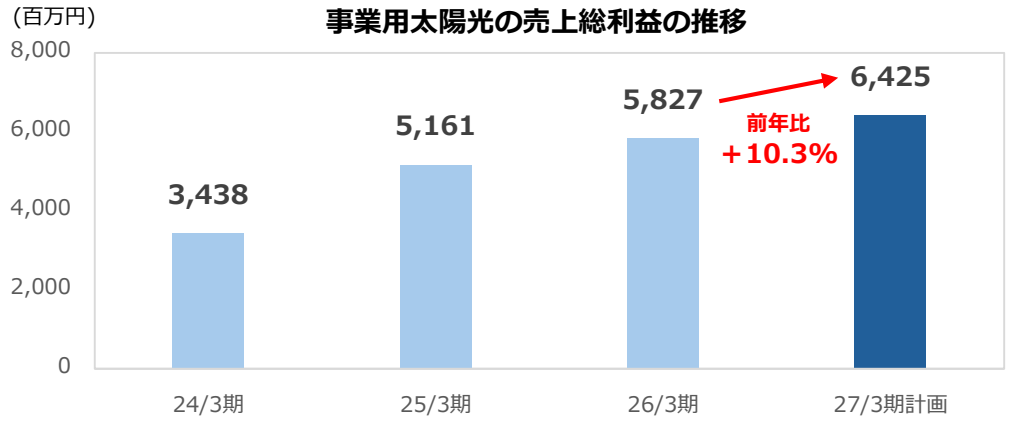
ES（エネルギーソリューション）事業

事業用太陽光（フロー）の成長と系統用蓄電池事業（ストック）の業績寄与により着実に成長。

セグメント営業利益		セグメント営業利益
50億円	→	**54億円**
2026年3月期実績		2027年3月期計画

事業用太陽光（フロー）の成長

前年比+10.3%成長、電気代高騰により自家消費需要は強まる予想



系統用蓄電池事業（ストック）の業績寄与

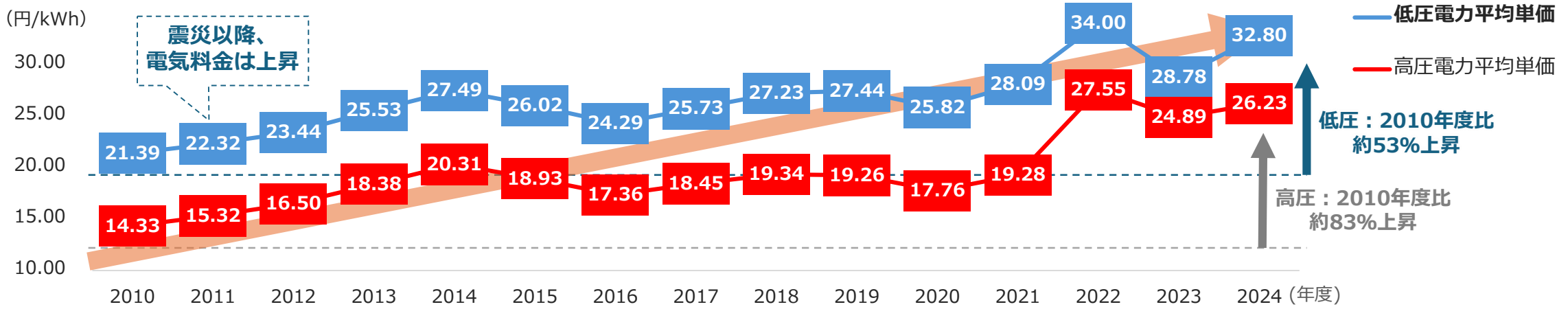
5か所の蓄電所が順次稼働し、ストック収益を拡大（写真は豊橋BPⅡ）



Copyright© grems,Inc All Rights Reserved

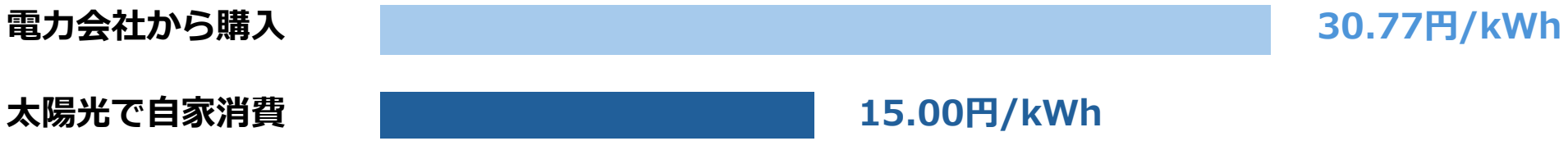
事業用太陽光が拡大する背景

低圧の電気料金は高圧より高く、2010年度比約53%上昇。自家消費型太陽光の導入メリットが拡大。



出所：日本のエネルギー 2025年度版 「エネルギーの今を知る10の質問」（資源エネルギー庁）を加工して作成

当社顧客（低圧）の購入単価と太陽光の発電コスト



自家消費する1kWh当たりの単価差：15.77円（上記単価による比較）

※ 電力会社からの購入単価は、当社顧客の平均的な使用量と地域分布を考慮した基本料金を除く電気料金の加重平均単価（2023年度から2025年度の3か年平均）
太陽光の発電単価は、当社顧客の平均的な発電コスト（20年平均）

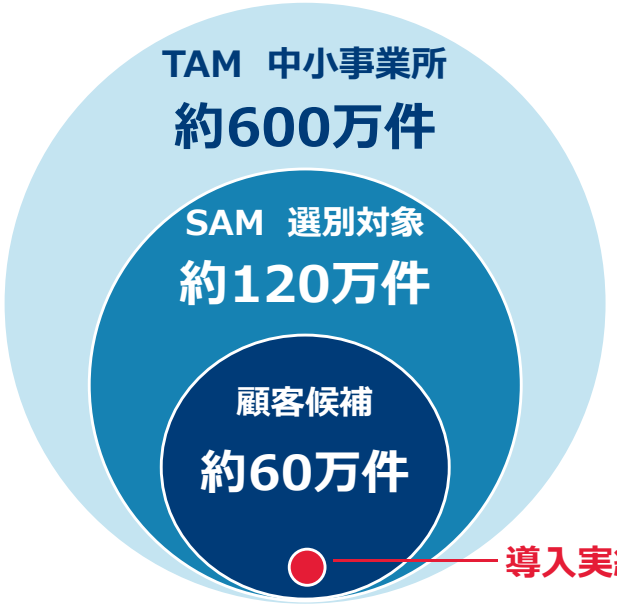
Copyright© grems,Inc All Rights Reserved

事業用太陽光の潜在顧客と導入率

顧客候補は約60万件。導入率は約1.0%で、拡大余地は大きい。

大手との競合が少ない中小事業所向け市場で、当社はトップランナーと認識。

潜在顧客の推計



低圧電力（200V）の契約数

中小事業所が中心と想定

屋根の形状等を考慮して選別

600万件 × 20%

選別対象の50%を顧客候補と想定

120万件 × 50%

当社の導入実績

累計導入実績

約6,300件

2026年3月期：約1,800件

当社の顧客候補に対する導入率

約1.0%

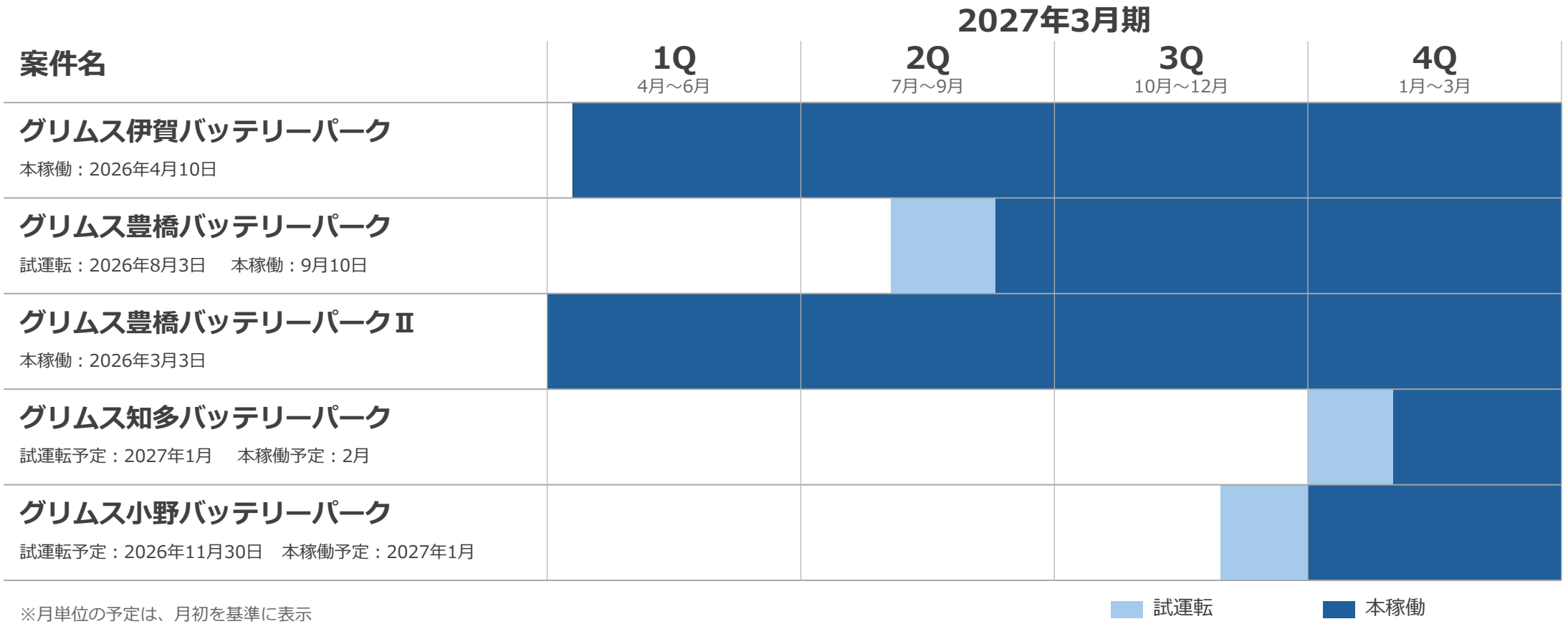
主な対象	**中小事業所（低圧受電）の屋根置き太陽光** **製造業（工場等）、農畜産業（飼育建屋等）、サービス業（飲食、理美容等）**
対象外	野立てのオフサイト太陽光・メガソーラー、大企業の小規模拠点（コンビニ等）

Copyright© grems,Inc All Rights Reserved

系統用蓄電池事業の進捗状況

全国5か所の高圧蓄電所（2MW／8MWh）のうち3か所が本稼働。2か所が今期中に稼働予定。

大津バッテリーパークは環境対策費用の増加により計画を中止。本件が業績に与える影響は軽微。



※月単位の予定は、月初を基準に表示

Copyright© grems,Inc All Rights Reserved

小売電気事業

契約口数の増加による販売電力量の増加とリスクヘッジの徹底により、着実に収益拡大。

セグメント営業利益

29億円

2026年3月期実績

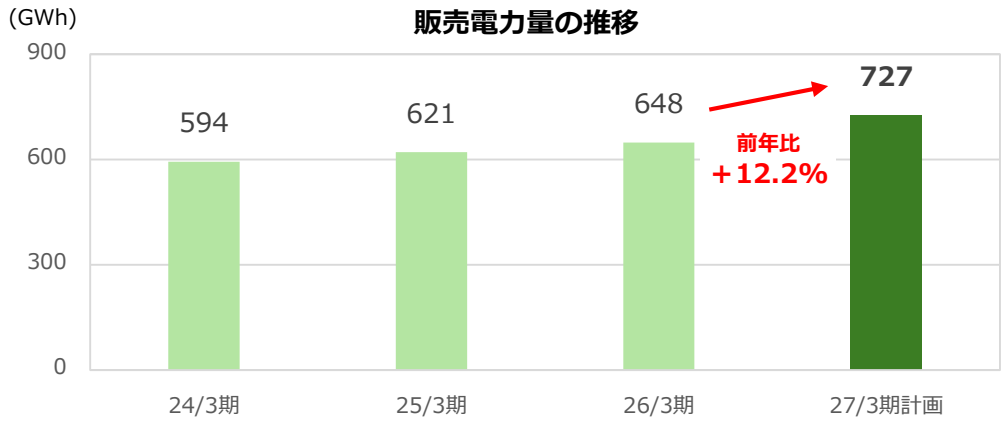
セグメント営業利益

32億円

2027年3月期計画

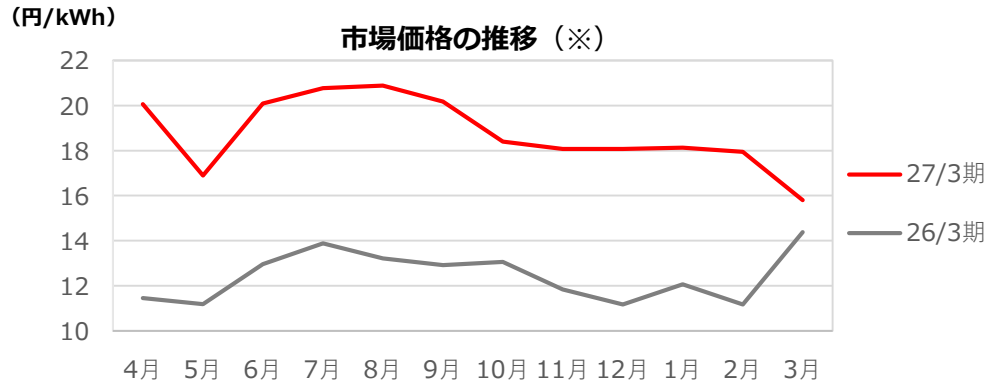
契約口数の増加による販売電力量の増加

販売電力量は前年比+12.2%成長を計画



リスクヘッジの徹底

27年3月期は中東情勢により市場価格が高騰しているが、通期に渡ってリスクヘッジ済み



Copyright© grems,Inc All Rights Reserved

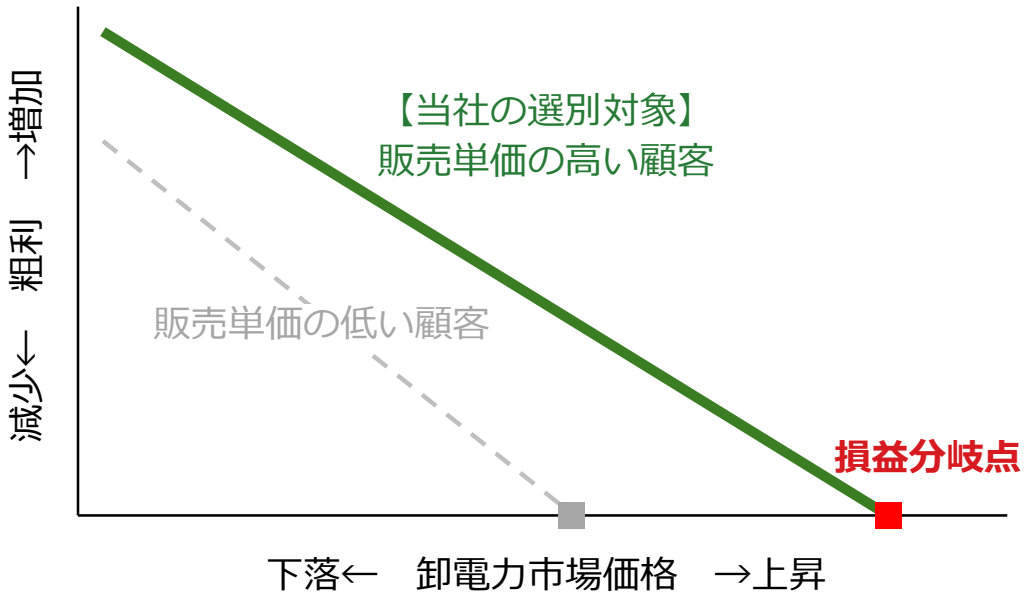
※ 2026年5月までは東京電力エリアのJEPXスポット価格を参照
2026年6月以降は2026年5月12日時点のTOCOM電力先物価格を参照

小売電気事業の戦略

高単価顧客の選別受注と市場価格変動への対応により、安定的なストック収益を確保

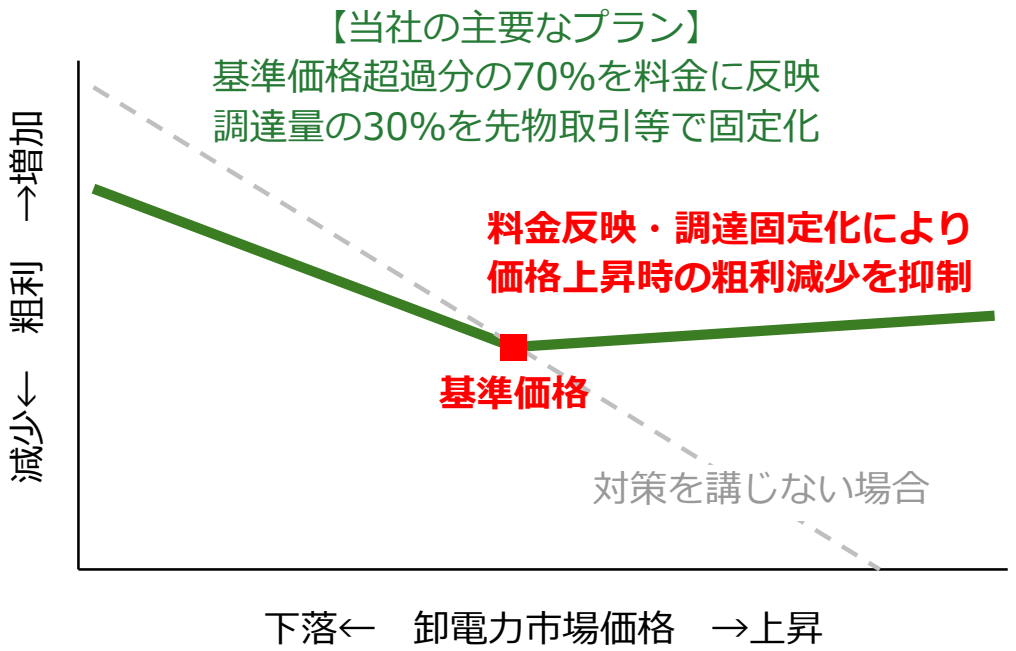
① 高単価顧客の選別による粗利の確保

基本料金を含む実質販売単価（電気料金÷使用量）の高い顧客を自社営業で選別し、使用電力量当たりの粗利を確保。



② 市場価格変動による粗利への影響を抑制

市場価格の上昇分を料金に反映し、調達量の一部を先物取引等で固定化。卸電力市場の価格変動による粗利への影響を抑制。

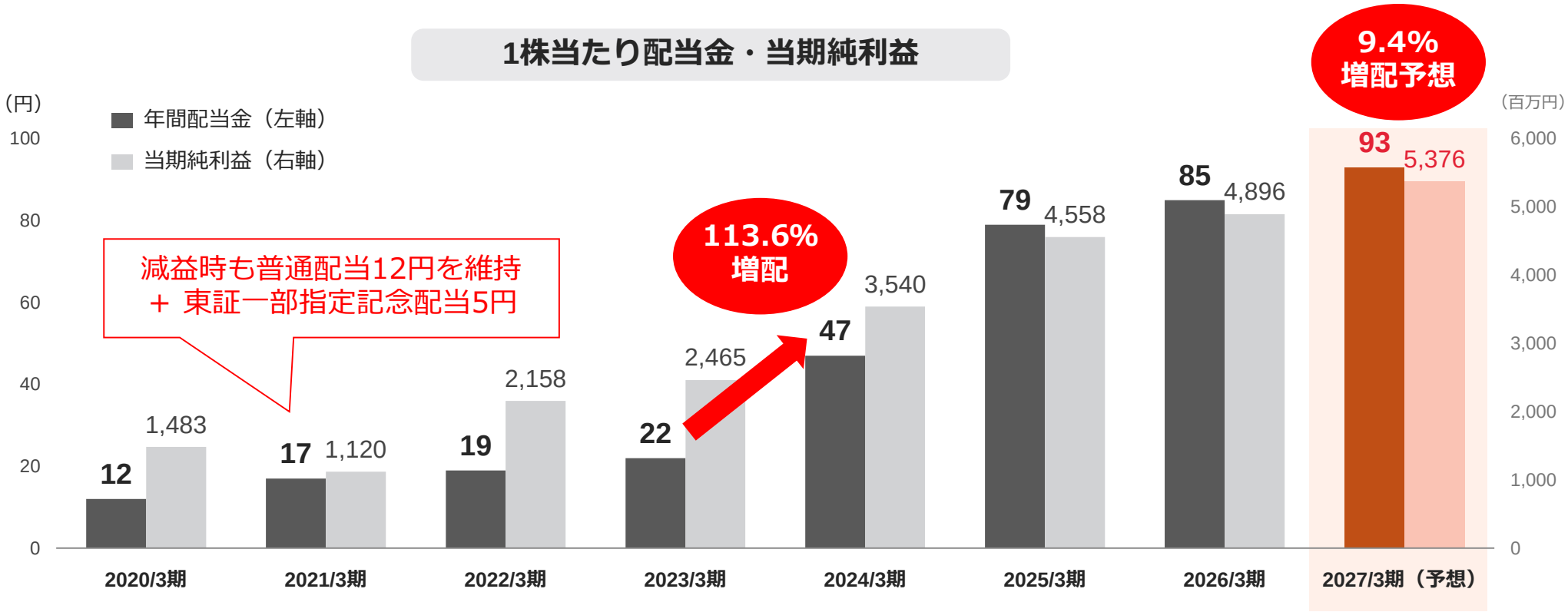


※両図は概念図。右図は料金反映・固定化の対象数量と価格指標等が一致する場合を想定。実際の粗利は需要量や調達条件等により変動。

Copyright© grems,Inc All Rights Reserved

2027年3月期 配当予想

2025年3月期より配当性向40%を目安とする株主還元方針を採用し、高水準の配当利回りが継続中。
2027年3月期は年間93円（中間28円・期末65円）と、11期連続の増配を予想。



	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期	2027/3期（予想）
配当性向	18.3%	34.4%	20.0%	20.3%	30.6%	**40.0%**	**40.1%**	**40.0%**
配当利回り	1.2%	0.9%	0.8%	0.9%	2.1%	**3.4%**	**3.1%**	**3.9%**

※配当利回りは各期末株価を基に算出。2027年3月期の配当利回りは第2四半期末株価を基に算出。
※1株当たり配当金は株式分割の影響を遡及調整。

Copyright© grems,Inc All Rights Reserved

⑬　サステナビリティ



グリムスのESG

「省エネ・創エネ・蓄エネ」を事業領域とし、環境に配慮した商品・サービスの提供を通じた持続的な成長と、豊かで安心して暮らせる社会の実現への貢献。

環境 Environment	• 省エネ性能の高い商品の販売による、顧客のエネルギー効率改善への貢献 • 太陽光発電システム・蓄電池の販売・普及を通じた、脱炭素社会の実現への貢献 • 気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言への賛同
社会 Society	• 社会ニーズを捉えた商品・サービスの提供による、豊かで安心して暮らせる社会の実現への貢献
ガバナンス Governance	• 社外取締役による経営監督と職務執行の適正性の確保（取締役会の3分の1以上、うち女性1名） • コンプライアンス委員会・リスク管理委員会による、経営上の重要課題の評価・管理



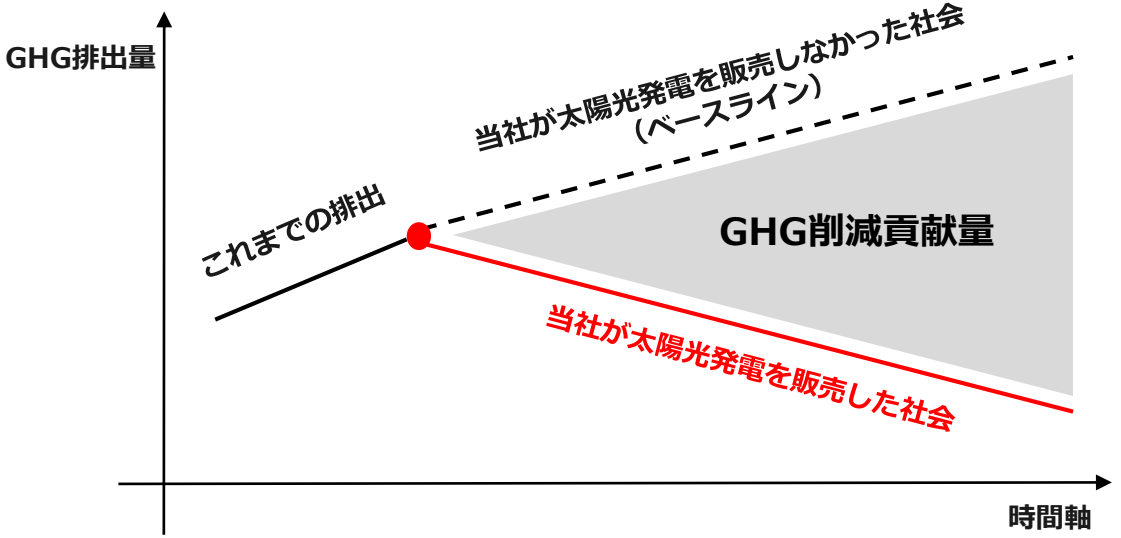
Copyright© grems,Inc All Rights Reserved

太陽光発電システムの販売によるGHG削減貢献量

太陽光発電システムの販売によるGHG削減貢献量は、年間約1.7万t-CO_2。

2026年3月期の販売案件の年間発電量41,317MWhを基に算定。
中小企業への提案型営業を通じて太陽光発電の導入を促進し、温室効果ガス（GHG）の排出削減に貢献。

算定条件：排出係数0.000416t-CO_2/kWh（環境省公表2026年度代替値）を使用。
参照指針：WBCSD「Guidance on Avoided Emissions」、GXリーグ「削減貢献量の算定・開示に関する指針」。



出所：WBCSD「Guidance on Avoided Emissions」をもとに加工して作成

	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期
年間発電量（MWh）	9,134	18,634	29,102	35,978	41,317
削減貢献量（t-CO2）	3,800	7,752	12,107	14,967	17,188

Copyright© grems,Inc All Rights Reserved

本資料に関するお問い合わせ

TEL 03-6863-6800

ir@grems.co.jp

（免責事項）
本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、特定の商品についての募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。
本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、今後予告なしに変更されることがあります。予めご了承ください。

Copyright© grems,Inc All Rights Reserved